

カイゼン報告用紙

課等名 健康子育て課

受 理 番 号 23—K015

標 題 子ども手当(児童手当)現況届の受付処理について

1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に

児童手当現況届の受付処理については、1件1件手入力により受付日、提出サインを入力していた。このため入力に非常に時間が掛かった。1日に300件前後の入力が限度で約3時間、9,000件の入力には1ヶ月以上掛かっていた。

2 取組内容(改善内容)……実施(改善)した方法について具体的に

平成22年度から児童手当が子ども手当に制度が変わり、電算システムを更新するのに当たり、メーカーと相談をし現況届のバーコードを読み取り、受付入力をできるようにした。これにより1日に500件の入力が約40分でできるようになった。

3 改善の効果……効果について数量等を具体的に

効果額
(算定根拠)

改善前 $4,140円 \times 9.0H = 37,260円$
改善後 $4,140円 \times 1.2H = 4,968円$
-32,292円

時間の節減
(算定根拠)

100件の入力に掛かる時間 改善前 約60分、改善後 約8分
改善前 9,000件 約540分(9.0H)
改善後 9,000件 約72分(1.2H)
-468分(7.8H)

その他の
効果

バーコードの読み取りは、臨時職員で可能なので、手入力に掛かっていた時間を現況届の書類審査や不備書類の処理に当てることができ、全体として業務の効率が上がった。